

平成24年度 学校評価

天理教校学園高等学校 (H25.6.24)

〔基本理念〕 天理教校を冠する高等学校として、天理教校の建校理念を受けて本教教義に基づく信条教育を施すと共に、教育基本法及び、学校教育法に基づく高等普通教育を施し、基礎的な学識に加えて、豊かな信仰心を育み、道の専従者、あるいは、布教者として専門教育を受けるにふさわしい基礎を養うことを主たる理念とする。

〔教育方針〕 ① 道の後継者、並びに、将来の国内外布教に寄与する人材の育成を目的とする。
② 徳分に応じて、その個性や能力を最大限に伸ばす視点での指導を目指す。
③ 全寮制を実施し、集団生活を通して、将来の道の後継者としての人間形成のための細やかな指導をする。

〔生活信条〕 喜び 感謝 ひのきしん

A:よく当てはまる B:ほぼ当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったく当てはまらない

分類	自己評価				学校関係者評価		
		評価項目	評価		評価項目	評価	
学校運営	建学の理念	1	基本理念が、教職員・生徒・保護者など、学校関係者によく浸透している。	B	1	建学の精神及び教育方針に添って、学校運営が適切に行われているか。	A
	教育方針	2	教育方針が、教職員・生徒・保護者など、学校関係者によく浸透している。	B			
	全寮制	3	学校と学寮が連携を取り合って、生徒育成の上に機能している。	A	2	全寮制の学校として、うまく機能しているか。	A
	群・コース制	4	生徒一人ひとりが将来を見据え、自らの徳分を伸ばす上に機能している。	B	3	2年次からの群・コース制は、うまく機能しているか。	B
	教育課程	5	学習指導要領に沿いつつ、群・コース制が十分生かされるものとなっている。	B	4	教育課程及び教育計画は、本校の生徒に適したものであるか。	B+
	教育計画	6	年間を通じた指導計画を各教科別に立て、年度末には実施報告をまとめ、次年度に生かしている。	B			
教育内容	信条教育	7	学校・学寮・部活動を通じて信仰心を育み、教祖の教えに間違いはないんだという信仰信念を培う。	A	5	信条教育の取り組みは充分と言えるか。	A
		8	本部の祭典・各種行事には、授業に替えて参拝・参加又は、ひのきしんに当たっている。	A			
		9	朝の定刻参拝を始め、学校・学寮でのてをどりまなび等、おつとめを真剣に勤めている。	B			
	人権教育	10	あらゆる差別・人権問題は陽気ぐらし社会実現を妨げるものであるとの観点から取り組んでいる。	B	6	人権教育の取り組みは充分と言えるか。	B
	教科指導	11	卒業後の進路を見据え、生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が成されている。	B	7	学習指導は充分と言えるか。	B
	補充指導・講習等の特別授業	12	通常の教科指導加えて各学期末に、成績の芳しくない生徒には補充指導を、更に上級学校を目指す生徒向けに進学講習を実施し効果を上げている。	B			
	学校行事	13	校外学習・コーラス大会・感話大会・運動会等、本校の行事にふさわしいものとして実施されている。	B	8	学校行事は、効果的に行われていると言えるか。	B+
	群独自の行事	14	各群の特色・ねらいに添って、群独自の行事が実施されている。	B	9	他校にない取り組みである群行事・海外研修は有益であると言えるか。	B+
	海外研修	15	将来、海外布教に携わる人材育成の上に効果を上げている。	B			
	部活動	16	自主性・協調性を身に付けることに主眼をおき、全国レベルで活躍する部も多く輩出している。	B	10	部活動はその効果を充分生かしていると言えるか。	B
生徒指導・支援	進路指導	17	生徒本人・保護者の意向を踏まえ、進路指導部を中心に計画的な進路ガイダンスが採られている。	B	11	進路指導は、効果的に行われていると言えるか。	B
	育成指導	18	世間の風潮に流されず生活信条を実践できる生徒の育成を目指し、細やかな指導が行われている。	B	12	育成指導は、効果的に行われていると言えるか。	B+
	保健・衛生	19	学寮との連携を密に、疾病・怪我を未然に防ぐことを第一に考え、精神面の支援も果たしている。	B	13	保健・衛生は、効果的に行われていると言えるか。	B
教職員研修	校内研修	20	新年度を迎えるにあたり、建学の理念・教育方針を確認すべく、講話を中心とする研修の機会を持っている。	B	14	教職員の資質は、保護者からみて十分足りていると言えるか。	B+
	教義研鑽	21	信仰者という上から、各定期考査期間中に職員教義勉強会を実施し、教義の研鑽に励んでいる。	A			